

また、市が実施している、市内の公共施設を光ファイバーで結ぶ広域ネットワーク事業の整備が今年度、完了する予定です。この光ファイバー網を活用し、天草でも東京や大阪などの都会と同じ情報通信環境で働くことができる「IT・サービス産業」の企業誘致にも取り組んでいきます。

**地場産業の振興を  
図るために**

天草地域は、小規模な事業所や企業が多いことから、新規事業の展開など新たな取り組みをしたくても、その余裕がない状況にあると考えられます。

今年5月から6月にかけて、市と荅北町が実施した「事業所・企業アンケート」では、約65%の事業所・企業が、新技術や新商品、新サービスなどの研究・開発に取り組むみたいと答えています。しかし、これらに取り組むための国・県の補助や融資、経営相談などの支援制度があることを知っている事業所・企業は約45%にとどまっている状況です(下のアンケート結果参照)。

**がんばる地場企業  
新たな取り組み①**

**(有)エコ・アース**  
(建設業・新和町小宮地)

新和町の建設業(有)エコ・アース(西川一彦社長)では、土を使わずに屋上やベランダを芝生で緑化する「エコ・ペタン」を製造・販売している。この製品は、熊本県新事業支援調達制度に認定されており、熊本大学などでも屋上に設置し、室内温度差の測定実験に使用されている。材料は、保水性と軽さが特徴の天然シラスで、鹿児島県(桜島の火山灰)から取り寄せている。1枚の大きさは縦20cm、横28cm、厚さ3cm。最大保水時の重量は約36kg/m<sup>2</sup>。土が必要なた社の屋上緑化製品に比べ重量が半分程度で、施工も簡単。1m<sup>2</sup>(18枚)当たり1万5000円



▲「エコ・ペタン」(右)と「エコ・ポチ」(左)を持つ西川社長

(天然芝生は別)で、今年4月からインターネット販売を始めた。ほかにも、同材料で製造した、ポットに観葉植物を入れて育てる「エコ・ポチ」というかわい商品も取り扱っている。西川社長は、「緑を見て怒る人はいないから」と、環境関連事業の拡大を目指す。

**産業・雇用創出  
事業構想の取組内容**

天草地域産業・雇用創出事業構想による「企業誘致」と「地場産業の振興」の主な取り組みの内容

は次のとおりです。

**◆企業誘致**

**①ふるさと「天草」企業誘致促進事業**

・1,000人ネットワークの構築…都市圏などに在住で天草出身の経済人などとネットワークをつくり、企業誘致につながる情報を提供してもらう。

**◆天草経済Newsの発行による情報発信**

・1,000人ネットワークの関心を持ち続けてもらうた

**がんばる地場企業  
新たな取り組み②**

**(有)森商事**  
(木製品製造販売業・天草町高浜北)

熊本県新事業支援調達制度に認定されている天草町の(有)森商事(森信行社長)。子どもたちの「木育活動」にも積極的に取り組んでおり、熊本市の産業文化会館の地下にチャレンジショップ「Forest Market」をオープンし、子どもが自由に遊べる積み木コーナーを設置している。現在、熊本大学工学部と産業技術センター、(有)森商事が連携し、機能的な机の環境が大幅に



▲「あいちちゃん」などのアイデア木製品を前にする森社長

身の経済人などとネットワークをつくり、企業誘致につながる情報を提供してもらう。

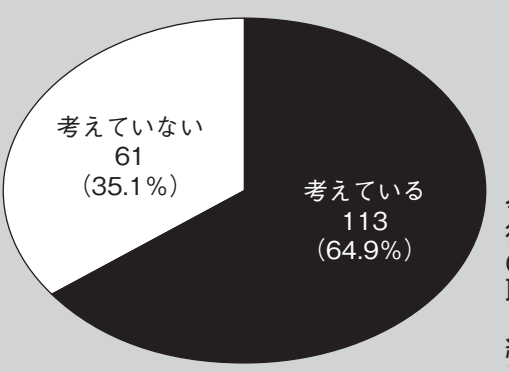
・天草経済Newsの発行による情報発信…1,000人ネットワークの関心を持ち続けてもらうた

「新しいこと」にチャレンジし、製品利用者の意識を変えたい。森社長は、自社の製品を全国に発信しながら、新たな可能性を日々探っている。

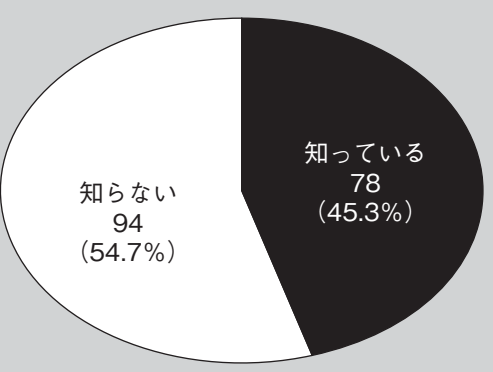
**②天草の特性を生かした提案型企業誘致事業**

・1次産業が生きる1・5次産業誘致促進事業…天草の水産養殖業やかんきつ類・菜種油(菜の花プロジェクト)・つばき油の生産などの取り組みと、温暖な気候と天草の健康的なイメージを生かせる製造業などの誘致を図る。また、地元企業や住民などを対象に1・5次産業関連のセミナーを開催し、意識の高揚を図る。

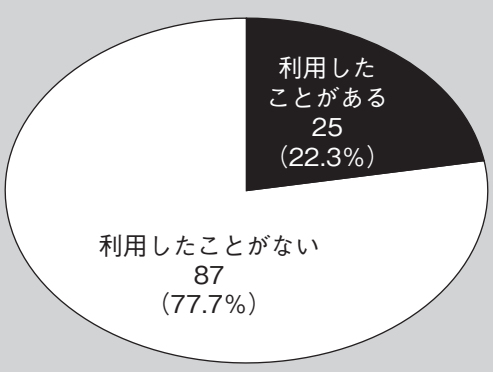
**「新技術や新商品、新サービスなど」  
①研究・開発への  
今後の取り組み**



**②研究・開発に取り組むための  
国・県の支援制度について**



**③国・県の支援制度の利用**



**④支援制度を利用しない理由**

